

第1回和歌山県災害対策本部会議 議事概要

日時：令和7年7月30日（水） 11時00分～11時15分

場所：県庁南別館2階 災害対策本部会議室

出席者：友井副本部長、中村副本部長、各本部員等、和歌山地方气象台、JR西日本和歌山支社

事務局（危機管理消防課長）

皆様ご参集ありがとうございます。それではただいまから第1回災害対策本部会議を開催させていただきます。経緯を申し上げますと、本日8時25分、カムチャツカ半島付近を震源とするマグニチュード8.7の地震が発生しました。それを受けて、8時38分に津波注意報が本県で発表され、9時40分に津波注意報から津波警報に切り替わりました。それを踏まえ、本県の防災体制措置要領に基づき、非常体制1号を発令しました。

それでは議事に入ります。本会議の議事進行については、知事代理の副本部長である副知事をお願いします。

友井副本部長（副知事）

次第の1番ですが、現在までの全般状況報告についてをお願いします。

和歌山地方气象台

手元の資料、気象庁報道発表資料に沿って説明します。

現在、和歌山県太平洋沿岸に津波警報を発表しており、和歌山県を対象に最大3mの津波を予想しています。次に、これは全国の津波警報の発表状況です（別添）。

ここから、津波第1波の到達予想時刻です。震源がカムチャツカ半島であるため、北海道から順に津波が到達すると考えられます。和歌山県においては、11時30分に那智勝浦で津波第1波の到達が予想されています。

次に、震源の概要ですが、マグニチュード8.7。これは先ほどご説明があったとおり、当初の8.2から外国のデータ等を取り入れ8.7にグレードアップしています。それを加味し、津波注意報から津波警報に格上げしています。

次に、防災上の留意事項ですが、津波による被害の恐れがあります。沿岸部や川沿いにいる人はただちに高台や避難ビルなど安全な場所へ避難をお願いします。津波は繰り返し襲ってきます。ここは重要です。第1波だけではなく、その後も津波は繰り返し襲ってきますので、警報が解除されるまで沿岸部には近づかないようお願いします。

あとは、地震の震度等ですが、全国で震度1程度の地震が、広い範囲で観測されていて、北海道では震度2です。かなり規模の大きな地震であるので、和歌山県では揺れはないものの、全国的には揺れが観測されているという状況です。

これはカムチャツカ半島の地震の詳細ですが、ここは割愛します（別添）。

あとは、発表した情報がどこで取れるのかということで、URLを案内しています（別添）。資料にはないのですが、口頭で付け加えさせていただきます。

1952年カムチャツカ半島でM8.5の地震があった。52年なので70年ほど前でしょうか。

M8.5 で、今日のが 8.7 ですので、少し小さな地震でどれくらいの津波があったかと申しますと、串本町袋港で 83 c m 最大波があり、和歌山市で 20 c m の津波がございました。以上です。

中村副本部長（危機管理部長）

災害対策本部の設置状況について事務局から説明させます。

事務局（危機管理消防課長）

県の防災体制状況について、本日 8 時 37 分に警戒体制を発令。9 時 40 分に津波警報に切り替わったため、災害対策本部非常体制 1 号を発令しました。

各市町村の 10 時半現在の災害対策本部設置状況ですが、9 時 40 分に和歌山市、海南市、御坊市に設置、8 時 45 分に美浜町、9 時に白浜町に設置しています。

同じく 10 時半現在の避難情報発令の状況です。警戒レベル 4 の避難指示ですが、海南市、御坊市、美浜町、すさみ町、那智勝浦町、太地町、古座川町、串本町の 8 市町で避難指示が出ています。対象者については資料にお示しのとおりです。

中村副本部長（危機管理部長）

次に JR 西日本からご報告があるため、よろしく願いいたします。

西日本旅客鉄道和歌山支社

県内の運転状況について説明します。紀勢線の和歌山市駅から和歌山駅、和歌山駅から新宮駅まで全線運転見合わせています。お客様、社員等は安全な場所へ避難が完了しています。また、阪和線の和歌山駅から和泉砂川駅と和歌山線の和歌山駅から粉河駅の間で順次運転を見合わせています。

中村副本部長（危機管理部長）

議題の 2 番に移ります。

応急対応方針の確認と指示ということで、本部長から発言をお願いいたします。

友井副本部長（副知事）

津波警報が発表されました。

関係機関等に対し、避難の徹底を働きかけてください。

また情報収集をしっかり行ってください。

津波到達時、予想時刻 11：30 頃には、即応できるよう準備をしてください。

浸水域内の施設に勤務する職員体制をしっかりとしてください。

被害が出た場合には、速やかに各部所管の施設等の被害等を報告してください。

特に振興局は、市町村の支援に万全に期してください。

続きまして住民の皆様に申し上げます。

津波警報が発表されました。

海岸や川の河口付近にいる人は、ただちに高台や避難ビルなど安全な場所へ避難してください。

津波は、第1波到達後も、何度も到達する可能性があります。また、津波の高さは、さらに高くなることも考えられますので、ご注意ください。

市町村から発令される避難指示に従ってください。

津波避難地域にお住まいの方は、情報収集に努めるとともに、速やかに避難してください。以上です。

中村副本部長

ただいま本部長からの指示並びに住民へのコメントが出ましたので、各部においてはそれぞれ対応をよろしくお願いします。

各部から情報共有すべきものがあればご発言をお願いします。

県土整備部長

津波注意報、津波警報の発令されたことを受けて、現在、海岸河川の水門、樋門について、市町村と連携しながら、そのうち自動で閉まるものは自動で、またそうでないものは操作者の安全確保を前提とした閉鎖作業を指示しており、現在作業完了報告待ちです。

また県土整備部で4台排水ポンプ車を持っていますが、速やかに稼働できるよう連絡確認をしています。

道路ですが、県管理道路の津波警報に伴う通行止めは現在のところありません。直轄管理国道についても通行止めがないという情報を現時点では事務所からもらっています。

道路情報板で避難の呼びかけを行っているところです。これは直轄管理国道についても同じであるという情報ももらっています。

日高港においてクルーズ客船（飛鳥II）が寄港する予定でありましたが、10時30分現在、沖で待機しているので、歓迎イベントが予定されていましたが、見合わせています。

地域政策局長

交通関係でききほどJRからもご報告があり、10時30分現在で、県で情報をとったものにはなりますが、お伝えします。南海電鉄は通常通りと聞いています。南海線、加太線、高野線、特急は通常通り。和歌山電鉄も通所通りとなる。紀州鉄道は10時15分から見合わせている、運休ということです。

バスについて、こちらも把握している範囲で、明光バスの路線バス高速バス、熊野御坊南海バスの路線バスとリムジンバス、龍神自動車及び中紀バスについては全線運休ということで情報をいただいています。

南海フェリーについて、10時10分の和歌山港着、10時30分の徳島港着については着岸後、沖に避難しました。第5便は運休になり、第6便から9便については現在未定となっています。

商工労働部長

金融機関に関する情報を収集しているところですが、紀陽銀行ですが、県内沿岸部の15

店舗閉めています。きのくに信金、新宮信金についても閉める動きがあります。

商業施設関連は、県内にファミリーマートが107店舗ありますが、沿岸部40店舗がクローズとなっています。オークワも沿岸部の18店舗が臨時休業となっています。

県の商工会関連については、県商工会連合会が聞いたところ、串本商工会、印南町商工会、日置川町商工会、南紀くろしお商工会も高台に避難しています。白浜町商工会、古座川町商工会も1階より上に避難していると聞いています。

企画部長

スポーツ課の関係で県立武道館が津波浸水区域にあるので、行事は中止、避難させるように連絡しています。

避難所開設指定されている施設もあるため、市町村と連携して準備を行うとともに私立学校に対しても注意喚起、県関係機関にも注意喚起を行いました。

外国人向けのサポートメールも準備をしています。

中村副本部長（危機管理部長）

ありがとうございました。他よろしいでしょうか。

次回の会議は、まだ津波到達しておらず、被害の状況が分からないため、それらを見ながら次回の開催については判断させていただきます。